

第7回「富県宮城グランプリ」について

- 趣旨 富県宮城の実現に向けて、本県産業の発展、地域経済の活性化に対する貢献が顕著である企業、団体及び個人（以下「企業等」という。）を称えることにより、富県共創への関心を高め、県民及び県内企業の主体的な取組を促進することを目的として、平成20年度に創設。

（東日本大震災後、平成23年度から平成26年度まで休止したため、平成30年度は第7回となる。）

2 募集・選考

（1）募集期間 平成30年9月1日（土）～平成30年10月31日（水）

（2）選考方法 県内の市町村、企業・団体、地方振興事務所等による推薦（自薦を含む）のあった企業・団体（合計12件）から、県内の産学官の主要団体で構成する「富県宮城推進会議」幹事への意見聴取等を経て知事が決定。

（3）表彰の区分

【富県宮城グランプリ】 本県産業の発展、地域経済の活性化に最も貢献したと認めるもの。

【ものづくり産業振興部門賞】 ものづくり産業分野において、品質や生産性の向上、新商品の開発、新市場への参入などにより業績をあげている企業であって、地域のものづくり産業の模範となりえるもの。

【「みやぎの食」振興部門賞】 食産業分野において、6次産業化や高付加価値化、販路開拓等により業績をあげている企業であって、地域産業振興への貢献が顕著なもの。

【地域産業革新部門賞】 産学連携による新技術の開発や、高度人材の育成・確保等、産業分野を問わず、革新的な手法により地域産業の模範となりえる成果をあげているもの。

株式会社 北 光 は「ものづくり産業振興部門賞」受賞の評価を頂きました

株式会社 北 光（栗原市）県内で半世紀にわたり電子部品などを生産。産学連携により高難度の塗装方法での全自動化技術確立のほか、EV（電気自動車）用部品の信頼性を向上する技術の開発などにより海外への販路を拡大した。これらの取組を通して、産学連携による品質向上を実現し、販路を拡大するなど、地域経済の活性化に貢献している。